

April 2, 2000

参加者、
秋元、在原、石川、伊東、鈴木、
田中、鳥飼、中島、古川、山間、
お見送り-北島

BMW RS Club

かわらばん

富士山と終日ランデブー
をした春の一日

かわらばん-中島 邦雄 摂影-小倉 玲子

早朝の街へ犬の散歩に出ると、風も無いのにカンヒザクラの枝が揺れていました。ソット近づいてみると矢張り居ました。一番(ひとつめ)のメジロが枝から枝へと動き回り、逆さまになったり枝を揺らしながら、すぐ目の前で盛んに花の蜜を吸っていました。近くに人が居るのも構いなしで、そのしぐさが余りに可愛くて暫く眺めていましたが、まさに本格的な春の訪れです。開花宣言の遅れていた桜も毎日花数を増し、東京中が一際明るくなってきた感じです。大川(馴川)では早くも屋形船が姿を現し、花を待ちきれない人々で賑わい始めました。

そんな中で今月のツーリングが催行されました。春休みのせいか花追人が多いのか、高速道路は朝からかなりの車で賑わっていました。首都高速の渋谷を過ぎると、真っ白に雪を被った富士山がクッキリと姿を見せ始め、これで今日の天気は保証されたも同じです。集合場所の東名「海老名」は満車の状態で、北さんが手を振って合図をしてくれました。天気が良すぎたか集まるメンバーの数が少なく、9時の定刻まで待って次の休憩地「富士川SA」へと出発しました。北さんが休日なのに仕事で、お見送りのみで厚木で高速を降りてゆき、此処で代わりに鳥飼さんが我々と合流しました。走るほどに富士山は益々大きく、くっきりとその全容を見せ始めました、やがて東海道随一の名勝、由比、蒲原、奥津の海が左手に広がり、スカン帆を立てた沢山の釣り船が浮かんでいます。穏やかに広がる海と富士山、そして右手にはミカンが枝もたわわに実りその見事なコントラストに、安藤廣重が此処である有名な「東海道五十三次」の絵を描いた気持ちが分かるというものです。とても穏やかで優雅でそして贅沢な気分にさせられました。清水ICで高速を降りると、早くに来すぎたという秋元さんが、新しいGSに乗って待っていました。つい先日ほんの2~3000キロを走っただけの車が盗難に遭い、その代わりに入れた車だそうで、凄い音の盗難装置が付けられていました。

国道に出てすぐに左折し、白糸の滝に近い朝霧高原の「猪の頭」へと向かいました。石川さんが凝ったコース設定をしたので、曲がる所を間違えて2~3度Uターンをしましたが、その度に見事に咲いたコブシの花や枝垂れ桜、そして見頃のフジ桜も満喫しました。奥津川沿いの道には「第二東名」の橋脚がそそり立ち、何か場違いな感じがしました。段々と田舎道に入ると道に沿って何処までも見事に水仙が咲き乱れ、藁葺き屋根の家々の前には疎水が勢いよく流れ、田舎の風景を描き続けた向井潤吉の世界そのものでした。こういう景色も毎年少なくなってゆくのでしょうか。枝垂れ桜にモクレン、コブシそして水仙、桜などが一気に花開き、目の前には靈峰富士山がそそり立ち、穏やかな日差しに包まれた我々は、あたかも極楽浄土の中でツーリングを楽しんでいるかのようでした。

予約の11時半にやや遅れて静岡県営「鱒の家」に着きました。この養鱒場は富士山の雪解け水を引き込み、卵から鮭かと思えるような大きなニジマスに育て、県内外に出荷しているとか。外の池では稚魚から大物までが各々の池で泳ぎ回り、我々の目を楽しませてくれています。子供が小さい頃には家族で度々遊びに来たスポットで、春には中を流れるせせらぎでカミサン子供とクレソンを摘み、釣り上げた鱒を土産に帰ったことが、ついこの間の事のように懐かしく思い出されました。ここは以前には古い民家を移築して店にし、黒光りのする家の中から千年杉の山の向こうに富士が眺められ、なんとも趣のある風情でしたが、年月には勝てず五年ばかり前に料亭風の店に変わったそうです。

鱒の皮のツマミやら刺し身、焼き物、フライ、甘露煮などで軽くビールを飲み、鱒の味噌汁と香の物で飯を食べて、素晴らしい今日の昼食が終わりました。昼寝をしたりダベったりして帰途に就きました。

外に出ると静けさの中に相変わらず富士山が聳え立ち、我々のエンジン音が大きく周囲にこだまするかのようでした。此処から秋元さんが、一足先に帰ってゆき、残りの者は裾野市へ向けて走り始めました。やや曇ってはいたものの、富士山は何処までも我々を見守るかのように前後左右について回り、本当に今日は富士山とランデブーをしたかのような、そんな一日に思いました。それにしても朝から帰りまで終日



富士山と一緒にいたのは、何とも贅沢で幸運な気持の一日でした。裾野の林の中に入ると、車もなく、全車が90キロ程の速さで坂を下り降りて行きましたが、気温が上がってきたのが分かります。矢張り高度が大分下がっているようです。裾野ICに入ると、鈴木さんがガス栓切れとか。石川さんが「今日は飛ばしてないからもちますよ」と言いましたが、ご当地人にしてみれば怖くて念の為「足柄SA」に入ることにしました。

一飛びで「足柄SA」に着きましたが、まだヤット午後二時です。日が陰り肌寒くなつた感じがしましたが、寒いという程ではなく、暫く休んで此処で解散となりました。どうしたことかパトカーがエリア内をグルグル走っていました。事故が有ったようで時間が早いのに、東名は「厚木」の手前から大渋滞となりました。それでもそこはバイクのこと。車の間を擦り抜けながら、文京区の自宅には四時に無事帰り着きました。400キロ弱のツーリングでした。

今日の幹事の石川さん。いろいろご苦労様でした。お陰様で楽しい一日を送らせて頂きました。